

科目名	管理会計論A Managerial Accounting A						
科目担当者	櫻井 俊男 SAKURAI Toshio						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	<p>会計分野と経営分野の境界上にある、管理会計は会計数値を経営管理に応用するものである。まずは対象となる企業の現実と運営の意思決定の事例を各種の DVD 視聴により理解する。それにより、「使える理論」を学習し、管理会計的な思考の習熟を判定する。</p> <p>部分的な知識ではなく、俯瞰できる知恵を重視する。</p> <p>具体的には、定期テストを中心に、数回のミニテスト、課題レポート提出により、その到達度を判断する。</p>						
授業の到達目標	<p>① 企業の意味・・・企業の実態(法的・経営実態等)を理解できる。</p> <p>② 経営の意義・・・現状把握、経営の失敗とはどのような状態なのかを理解できる。</p> <p>③ 再生の意味・・・上記②を改善するにはどのような手法があるのかを理解できる。</p> <p>④ 管理会計の定義・上記③の手法のうち管理会計はどのように貢献できるのかを理解できる。</p>						
授業計画・内容	1	企業とは DVD にて企業の代表的形態の株式会社の実態を学習(管理学範疇の管理会計論) (1)					
	2	同上(2)					
	3	企業経営手法を DVD 視聴により学習(経営概論・経営課題の理解) (1)					
	4	同上(2)					
	5	企業経営改善手法を DVD 視聴と配布資料により学習 (1)					
	6	同上(2)					
	7	企業再生と M&A の現況を DVD にて視聴 (1)					
	8	同上(2)					
	9	管理学範疇の管理会計論手法(1)					
	10	管理学範疇の管理会計論手法(1-2)					
	11	管理学範疇の管理会計論手法(2)					
	12	管理学範疇の管理会計論手法(2-2)					
	13	管理会計の主要方法(1)					
	14	管理会計の主要方法(1-2)					
	15	管理会計の主要方法(2)					
授業外学修 (事前学修)	<p>単元項目について事前に資料等を配布する。</p> <p>(予習)配布資料に基づき図書・ネット検索を実施し講義の拡張性を図るよう努力する(上記単元 8 項目について各 2 時間程度)</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>単元項目について事前及び講義時に資料等を配布する。</p> <p>講義時に使用する専門用語・事例を自学する(上記単元 8 項目毎に各 2 時間程度)</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				50%	①、②、③、④	
	課題レポート				30%	①、②、③、④	
	小テスト				20%	①、②、③、④	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	講義時に通知						
参考文献	講義時に通知 資料・レジюмеを単元ごとに事前配布						
その他							